

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和4年10月15日

公表: 令和4年10月30日

事業所名 児童園 太陽 緑店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1		異年齢交流の重要性も考慮し安全なスペースの確保を行います。
	2	職員の配置数は適切である	6			今後も丁寧な支援が行えるような人員配置に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	2		障がい特性に応じた環境を作れるよう環境整備に努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	1		今後も清潔な環境の保持に努め、安全・安心に活動できる体制作りを行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2		今後も全職員が業務に主体的に関われる体制作りを行ってまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		評価表を共有しています。課題や改善点の話し合いを行いました。今後も職員間で共有し業務改善に努めます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1		今後も公表させていただき改善すべきところは改善し支援の質の向上に努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		外部評価をしていただく機会を検討したいと考えております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		短時間職員も参加できるよう曜日を検討してまいります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	1		児童発達支援管理責任者以外の職員でもアセスメントができる目を養っていけるよう人材育成に努めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		積極的に導入を検討します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6			支援計画に基づく支援会議を今後も行い具体的に支援内容を明示します。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6			今後も支援会議を密に行ってまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		出勤数が少ないパート職員にはなかなか意見が聞けないことがあります。改善できるよう努めます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1		幅広く意見を取り入れ固定化しないように療育効果が得られるプログラム作りを行います。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	1		今後も個別の良いところ、集団の良いところを取り入れ療育効果の向上を図ってまいります。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		帰り時間は難しくても翌日やミーティングで話し合える環境を整えます。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			体温・活動内容・取り組みを詳しく書いています。また、支援記録も残り今後も継続して行ってまいります。	

関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			毎日の支援会議を有効活用し計画の見直しや継続の可否について全職員で取り組んでまいります。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童発達支援管理責任者が中心となり参加しています。関りが強い指導員がいる場合は参加を促していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			必要である場合は適宜連絡をさせていただきご指導を仰いでまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1		現在医療的ケア児様をお預かりさせていただいていまして、主治医様から直接話を聞く機会はありませんが、その他児童様は保護者様を通じて情報をいただいております。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	1		現在医療的ケア児様をお預かりさせていただいていまして、主治医様から直接話を聞く機会はありませんが、その他児童様は保護者様を通じて情報をいただいております。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		ご指導を仰いでまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1		適宜連絡をさせていただきご指導を仰いでまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1		ご指導を仰いでまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3		コロナ禍でなかなか叶っていませんが活動する機会を設けていきたいと思っております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2		情報を確認しながら積極的に参加していきたいと思っております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			些細な事でも連絡を取り合い状況の共有ができるよう伝えやすい環境作りを努めてまいります。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1		保護者様から相談や助言を求められたときは誠実に真摯にご対応させていただいております。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			管理者や社員が中心となり行っており、短時間職員が運営規定や利用者負担についての認識が希薄である為、今後、必要に応じて研修機会などで認識を深めていく時間を作ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6			今後もガイドラインの基づき作成し、ニーズを組み入れ作成した支援計画を丁寧に説明し同意を得ていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		面談のご案内や電話・訪問等でお話を伺って一緒に解決の糸口を探していく支援に努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		コロナ禍でなかなか叶っていませんが活動する機会を設けていきたいと思っております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			職種に関係なくどの職員でも報告・連絡・相談する環境作りを行い、保護者様の相談や申し出に迅速にご対応いたします。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		今後も継続してHP、ブログを通じ発信してまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6			今後も十分に注意致します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			今後も特性に応じ個別に対応してまいります。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	1	各種マニュアルを整備しています。職員のみならず保護者様にもお伝えできるよう努めてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		今後も定期的な訓練はもちろん、紙芝居等を通じて伝えてまいります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		お薬情報を保護者様からいただいておりますが最新のものに更新できるよう努めてまいります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		指示書はありませんが保護者様からお聞き取りさせていただいています。指示書の有無を確認させていただきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		毎月共有しています。今後の継続してまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		今後も研修を行い虐待防止についての意識を定着化します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	1	身体拘束についての研修を行い、必ず適切な対応がされるよう意識の定着化を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。